

今年度の振り返りと次年度の抱負

情報工学コース 長谷川 達人

2019年度の優秀教員に選定いただき大変光栄に思います。嬉しく思う一方で、まだまだ至らぬ点も多いため、改めて今後も精進してまいりたいと思います。本レポートには、昨年同様、今年度の講義に関する振り返りと、次年度への抱負を述べさせていただきたいと思います。

私が主に担当しております講義は、プログラミング II, IV, 電気電子情報工学実験 I, データマイニングで、プログラミングに関する内容が大半です（なので他所では、自身の職を「パソコンの先生」と自己紹介しています）。大半は計算機室で、学生1人1台PCが常時使用できるという恵まれた環境で講義しております。そこで昨年末頃から試験運用しているのが、リアルタイムコメントスクロールシステムを導入したニコニコ生放送風の講義です。詳細はこちら（<https://www.mirai-kougaku.jp/lesson/pages/65.php>）で述べてますのでここでは割愛しますが、1年ほど運用した結果を少しお話します。

まず、本システムを導入して良かったか？と聞かれれば間違いなく良かったと回答します。学生に質問を問いかければ、意外と返答が返ってきますし、わからない点があればリアルタイムで質問も飛んできます。ですので、一方的な講義ではなく、学生からの自発性を多少は誘発でき、双方向性の向上に寄与しているように思います。一方、このシステムについて話すと、大抵の方には荒れるのでは？と質問されます。実施先に強く依存するとは思いますが、実は私の講義ではほとんど荒れません。恐らく本学の学生が真面目なんだと思います笑。時折ですが、講義中にネタコメントが飛んではきますので、その時は適宜スルーしていると大体止みます。また、すぐ使われなくなるのでは？との懸念もあったのですが、意外と1年間、恒常的にコメントされております。

次年度への抱負は、講義内容がわかりやすくなるよう改善し続けることです。それに加えて上記システムの更新と、体調管理としたいと思います。上記システムは、まだまだ試験運用段階ですので、より講義自体を良くするための工夫を模索したいと考えております。体調管理については、例年花粉の時期に喉を痛めてしまう傾向が強く、今年も学生に迷惑をかけてしまいました。次年度こそは、ボーカリストのように喉をいたわり、安定した講義を提供できるよう心がけたいと思います。

最後になりましたが、私が上記のように自由にさせて頂けておりますのも、様々な支援を頂いた学科を始めとする周囲の皆様のご助力のおかげです。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。